

## 一般質問通告書

受領日時 令和6年 8月23日 午前11時56分 7番 氏名 松浦 真

質問項目	質問の要旨
1 高校生の海外渡航補助をふるさと納税で	<p>(1) 小中学生向けには、AIU との協働で五城目で世界一周などのプログラムが行われているが、高校生向けには行わないか。</p> <p>(2) 今年度、民間団体が有志でクラウドファンディングを行い、五城目在住の高校生を海外に送った事例がある。今後に向けて、ふるさと納税の使途目的を明確化することで、町在住の高校生の留学や海外での学びを五城目町で継続的に支援できないか。</p> <p>(3) 来年度以降はどのような KPI や計画を考えているか。</p>
2 矢田津世子を今後どのように町内外に発信していくのか	<p>(1) 没後 80 周年を機に矢田津世子の未発表原稿が発見されるなど、改めて町内出身の作家として評価されようとしている。県立大学副学長の高橋秀晴氏によれば、津世子作品は、ふるさとへの愛を感じさせ、人間の本質を描いている作品であると評価される。今回の原稿の「みぞれ」についてもこれまでのような簡易出版だけではなく、流通に乗せたほうが良いという声もある。町の考えは。</p> <p>(2) 作品内に出てくる古寺など、五城目町の場所を巡るツアーなども企画し、町内外に向けて予算をかけなくても発信できる方法もあると考える。町の考えは。</p> <p>(3) 町で保管されてある矢田津世子の原稿や資料などはどこにどのように保管されているのか。保管状況はどのようなになっているのか。また、没後 100 周年まであと 20 年、原稿の劣化など保管方法も今後課題になってくる。データ化などは検討しないのか。</p>
3 タブレットの更新および古いタブレットの有効活用は	<p>(1) 現状、小中学生に貸与しているタブレット機器の更新タイミングが近づいている。本タブレットの運用状況について、成果と課題はなにか。次期の更新に向けてこれらの課題をクリアするにはどのような準備が必要か。また想定予算や時期は。</p> <p>(2) 現状のタブレットはリースではなく、町が購入したものである。これらを用いて、各公民館などで高齢者や町民の幅広い世代にも DX の恩恵が受けられるような取り組みを町で行っていくなどは検討しないか。</p> <p>(3) 総合発展計画にも「ICT を学習ツールとして効果的に活用していくために、児童生徒の ICT 技能の段階的育成と教</p>

	<p>職員の指導力を高める研修を推進します」と記載があるが、教職員向け研修の状況と、児童の ICT 技能の習熟度はどのように測定し現状どうなっているか。</p>
<p>4 樋門管理のあり方は</p>	<p>(1) 全員協議会では、フラップゲート一基を設置するのに 2000 万～3000 万程度の予算が必要とのコメントがあった。一方で大川地区の農業用樋門などは高さが低く、内水氾濫をフラップゲートで防げないとのこと。フラップゲートを導入する場所としない場所の想定は。導入しない場合、可搬型ポンプなどでの対応となるが、この対応についてはいつ目処で誰が指示を行い、予算としてはどれぐらいがいつ計上されるのか。現状の予定を教えてください。</p> <p>(2) 先日の全員協議会資料にて、内水浸水対策住民説明会が今年度 12 月と 2 月に 2 回開催されるとあったが、こちらは毎回内水氾濫で被害が大きくなる曙町含む大川地区に向けても開催されるという認識であっているか。</p>
<p>5 遊具新設とエリアマネジメントの融合を</p>	<p>(1) 全員協議会の資料で提案された町内遊具の管理計画について、今年 6 月の遊具点検の結果、修繕不要が 6 基のみ、撤去が 12 公園 31 基となっている。場所を集約し必要な遊具を新設すべきという声もあったと聞くが、新設するための場所選定やどのような遊具を選定するのかの方向性は、パブコメやワークショップの際にぜひ町民の声を聞いてほしい。</p> <p>昭島市立光華小ではプレーパークを学校内で行うなどの事例もある。五城目町の様々な環境を活かした新しい遊具と公園づくりは、これまでも指摘している雀館のエリアマネジメントにもつながる。男鹿市に 2025 年に新設される船越こども園は建築家の三浦丈典氏が関わり、地域全体を新しい学びの空間とする計画がある。</p> <p>現在休止中の雀館運動公園の整備費年間 2,000 万円の一部をエリアマネジメントや建築家、デザイナーに依頼することで、より充実した雀館公園と遊具新設に伴う場所にリブランディングができないか。町の考えは。</p>